

JR九州様に公衆回線を使用した「無線式列車制御システム」を導入

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：後藤隆一）は、2023年より九州旅客鉄道株式会社（以下、JR九州様）と共同で公衆回線を使用した「無線式列車制御システム」の開発及び試験を行ってまいりました。このたび、実用化に向けた評価が完了したため、2028年度から段階的にJR九州様（長崎地区）に導入いたします。

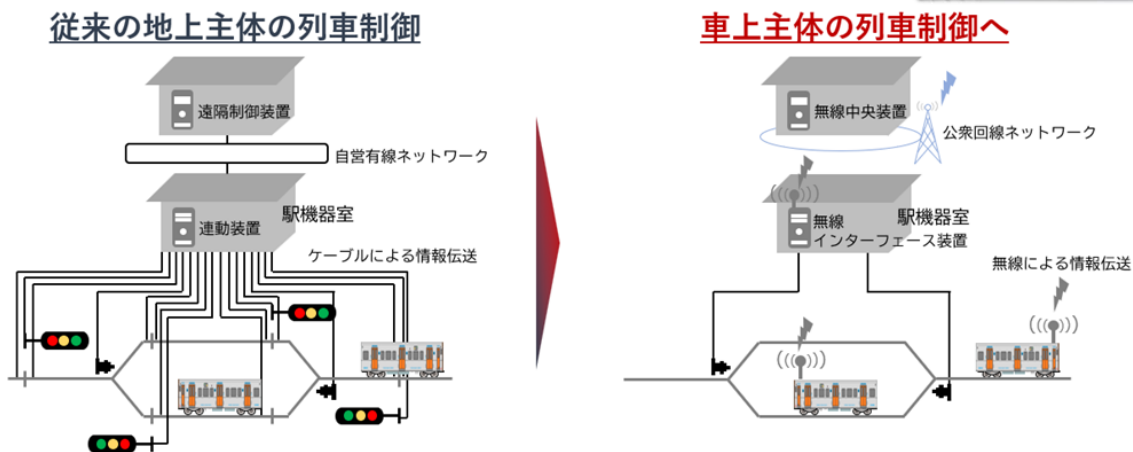
本システムは情報伝送に公衆回線を使用することで設備および導入コスト・ランニングコストを大幅に削減しながら、現行のシステムと同等以上の安全性を実現いたします。

当社はこれからもJR九州様の共創パートナーとして、安全性の向上や労働人口減少等の社会課題に対応してまいります。



<本システムの構成>

地上設備の最大限のスリム化



<本システムの新規技術>

①	情報伝送が途絶える場合（通信途絶）に列車の安全を確保する技術
②	情報セキュリティを確保する技術

<導入線区およびスケジュール（目標）>

使用開始時期	線区名	導入区間
2028年度	長崎本線	喜々津～浦上（長与経由）
2032年度	長崎本線	諫早～長崎（市布経由）
2033年度	大村線	ハウステンボス～諫早

問い合わせ先

日本信号株式会社 総務部

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp